



# 三内丸山通信



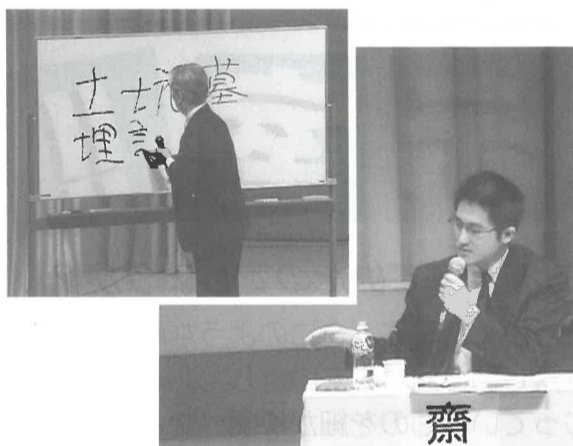
白熱した討論が繰り広げられたパネルディスカッション

まず最初に、三内丸山遺跡最新情報として、今年度の発掘調査の報告がありました。「三内丸山遺跡と円筒土器文化」と題した文化庁岡田康博氏の基調講演の後、円筒土器文化を代表する青森県畑内遺跡、秋田県池内遺跡、北海道北黄金貝塚について調査担当者がそれぞれの遺跡の特徴や集落のようす、出土遺物などを

まず最初に、三内丸山遺跡最新情報として、今年度の発掘調査の報告がありました。「三内丸山遺跡と円筒土器文化」と題した文化庁岡田康博氏の基調講演の後、円筒土器文化を代表する青森県畑内遺跡、秋田県池内遺跡、北海道北黄金貝塚について調査担当者がそれぞれの遺跡の特徴や集落のようす、出土遺物などを

スライドを使って報告しました。続くパネルディスカッション「円筒土器文化から探る縄文社会」では、岡田氏をコーディネーターに、各遺跡の報告者と岡村道雄氏（奈良文化財研究所）、三内丸山遺跡担当者が、墓や食料・交流の面から縄文社会に迫りました。食料については、円筒土器文化の中でも北海道では海獣を多く食料とし、植物を多く食べる東北地方とは違っていて、これは遺跡から出土する動物の骨や狩猟の道具だけでなく、縄文人の虫歯からもわかった、という話がありました。また、自給自足のイメージが強かった縄文時代ですが、内陸部の遺跡でもブリやサメなどの骨が見つかっていて、食

閉会后、参加者からは「興味深い話が聞けてよかった」、「ほかの遺跡との関連を知ることができて楽しかった」という感想が聞かれました。



齋

去る12月21日、東京・有楽町の朝日ホールで「三内丸山遺跡縄文シンポジウム2003」が開催されました。9回目となる今回のテーマは「三内丸山遺跡と円筒土器文化」でした。

## 三内丸山遺跡 縄文シンポジウム 2003

in 東京

### 円筒土器文化とは

縄文時代前期中頃から中期中頃（今から約5,500～4,500年前）に、円筒土器と呼ばれる細長いバケツのような円筒形の土器を使用していた地域にみられる縄文文化のことです。青森県を中心として北は北海道の道央、南は秋田県・岩手県の中部にかけて分布しています。円筒土器文化の特徴として、独特の形をした石器や岩偶・十字型の板状土偶などがあげられます。



(上) 円筒土器



(右) 円筒土器文化の分布

### 雪ランド 2004

〈冬も楽しい！三内丸山遺跡〉

2月7日（土）・8日（日）の2日間、雪ランド2004を開催します。

おなじみとなった巨大すべり台やストラックアウト、大型堅穴住居でのもちつきなど、楽しいメニューが盛りだくさんです。夕方にはミニかまくらに灯りをいれます。

開催時間は午前10時から午後4時までです。

一面雪に覆われた、冬の三内丸山遺跡を楽しんでください。

さんまるも待ってるよ



大型すべり台	遺跡内。そりは貸し出します。
ミニかまくら作り	遺跡内。道具は貸し出します。
クイズラリー	遺跡内。縄文時遊館スタート。
ストラックアウト	遺跡内。
ふるまい鍋	遺跡内。
もちつき	大型堅穴住居内。
土器復元体験	縄文時遊館内。
縄文クッキー作り	縄文時遊館体験工房。
体験学習	縄文時遊館体験工房。材料費が必要です。



縄文時遊館

開館1周年



縄文時遊館が三内丸山遺跡の玄関口としてオープンして、1周年を迎えました。

これを記念して、11月29・30日にミニコンサートやクイズラリー・縄文パン作りなどのイベントがおこなわれました。一生懸命にクイズに挑戦する小学生の姿も見られました。三内丸山遺跡マスケットキャラクターの「さんまる」も時遊館入り口でお客様を出迎えました。

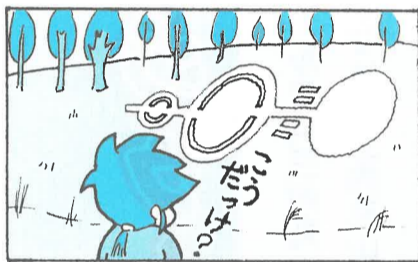
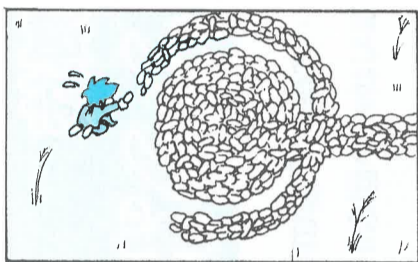
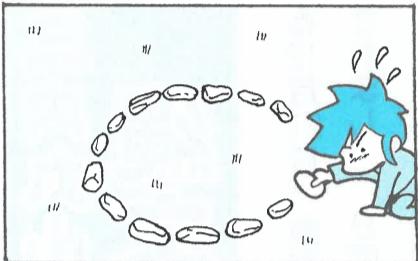
また、縄文ギャラリーの企画展示コーナーでは「青森県の主な縄文遺跡」と題して、是川遺跡や亀ヶ岡遺跡などの紹介のほか、三内丸山遺跡に隣接する青森市近野遺跡のトチの水さらし場のレプリカやトチの実の剥ぎ取りなどを展示しています。

サンタイムズのなかまたち



どんなお墓があったの？

丸山三太郎



さんまるがお出迎え



縄文パン作り



最新情報展のようす

「平成15年度の発掘調査の成果―集落南側の墓と道―」と題したパネル展を、遺跡内展示室で開催しています。

今年度も昨年度に引き続き、集落南側のお墓と道路跡の調査をおこないました。新たな環状配石墓が見つかり、墓域がさらに延びることがわかりました。

遺跡の



展示室で

道路跡も遺跡南端まで延びることがわかりました。このような成果を写真を使って、わかりやすく紹介しています。

好評の「三内丸山遺跡の磨製石斧」も同時開催中です。

展示室!!

もっと詳しく

縄文人はタコを食べていたのでしょうか？

魚の骨や貝殻はともかくとして、タコのような軟体動物を遺跡から見つけるのは難しいと思われていました。しかし、三内丸山遺跡の土に混じっているものを細かく調べたところ、タコの口を見つけることができました。三内丸山遺跡発の新発見の一つです。



この他に多種多様な魚、クジラやイルカ・アシカなどの海の動物、貝類、カニ、シャコなども出土しています。



これがタコの口!

三内丸山遺跡 報告会のお知らせ

平成15年度の三内丸山遺跡報告会を次のとおり開催します。

平成16年3月14日(日)

午前10時30分から

青森県総合社会教育センター

センター

(青森市荒川)

県立図書館となり)

三内丸山遺跡の最新の調査・研究について、多くの方々に知ってもらうためにおこなっているものです。今年度の発掘調査や特別研究の成果の報告をおこないます。なお、当日の詳しい日程は決まりしだい、公式ホームページなどでお知らせします。

遺跡のご案内

○開園時間

午前9時～午後5時

(入場は終了時間の30分前まで)

ただし、遺跡内展示室・覆屋は4時30分まで(11月1日～3月31日)

○ボランティアガイドの定時案内

1回目は9時15分から

その後は10時から1時間おき

最終は15時30分から

ガイド・体験工房の

お問い合わせ・お申し込みは

縄文時遊館内 三内丸山応援隊

TEL (017)766-8282

○交通手段

青森市営バス

JR青森駅から「運転免許センター行き」

三内丸山遺跡前で下車